証券コード:7472

“百年の信頼を、未来につなげる”

株式会社鳥羽洋行

会 社 説 明 会

2020年9月12日(土)

TOBA 株式会社 鳥羽洋行

皆様へお伝えしたい事

◆積極的な株主還元
配当方針、株主優待制度

◆生産設備の専門商社

◆独自の営業体制

◆創業１１０年企業

積極的な株主還元（株価・配当情報）

9/11（金）の株価・配当金予想

終値（9/11）	**2,718円**
今期の配当金予想 ※2020年8月7日発表	**80円**
予想配当利回り	**2.94%**

積極的な株主還元（株主優待）

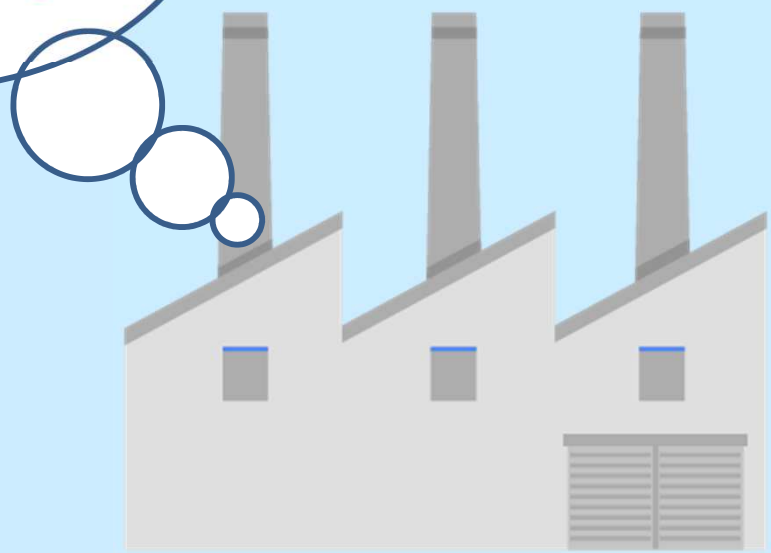
●株主優待は「クオ・カード」を採用しています

対象株主	単年度	継続保有３年以上
1,000株以上	3,000円	6,000円
100株以上1,000株未満	1,000円	2,000円

＜クオ・カードの代金の一部は、「緑の募金」へ寄付されます。＞

株主優待の割当基準日は、毎年9月末日です。

生産設備の専門商社



私たちの生活を取り巻くあらゆるモノが
工場で作られています。

機械工具専門商社の分類例

1．販売形態による分類

①直販型　②卸売型　③通信販売型

2．取扱い商品による分類

①組立　②工作機械関連　③電気部品・部材　④その他

3．販売地域による分類

①広域展開　②地域限定

機械工具専門商社と表現されますが、企業ごとに特徴に差があります。

当社独自の営業体制

１．販売体制

・ メーカー様より直接仕入、ユーザー様へ直接販売

２．卓越した専門スキル

・ 各種専門資格の取得 ⇒ メーカー代行営業

３．国内外に広がる販売ネットワーク

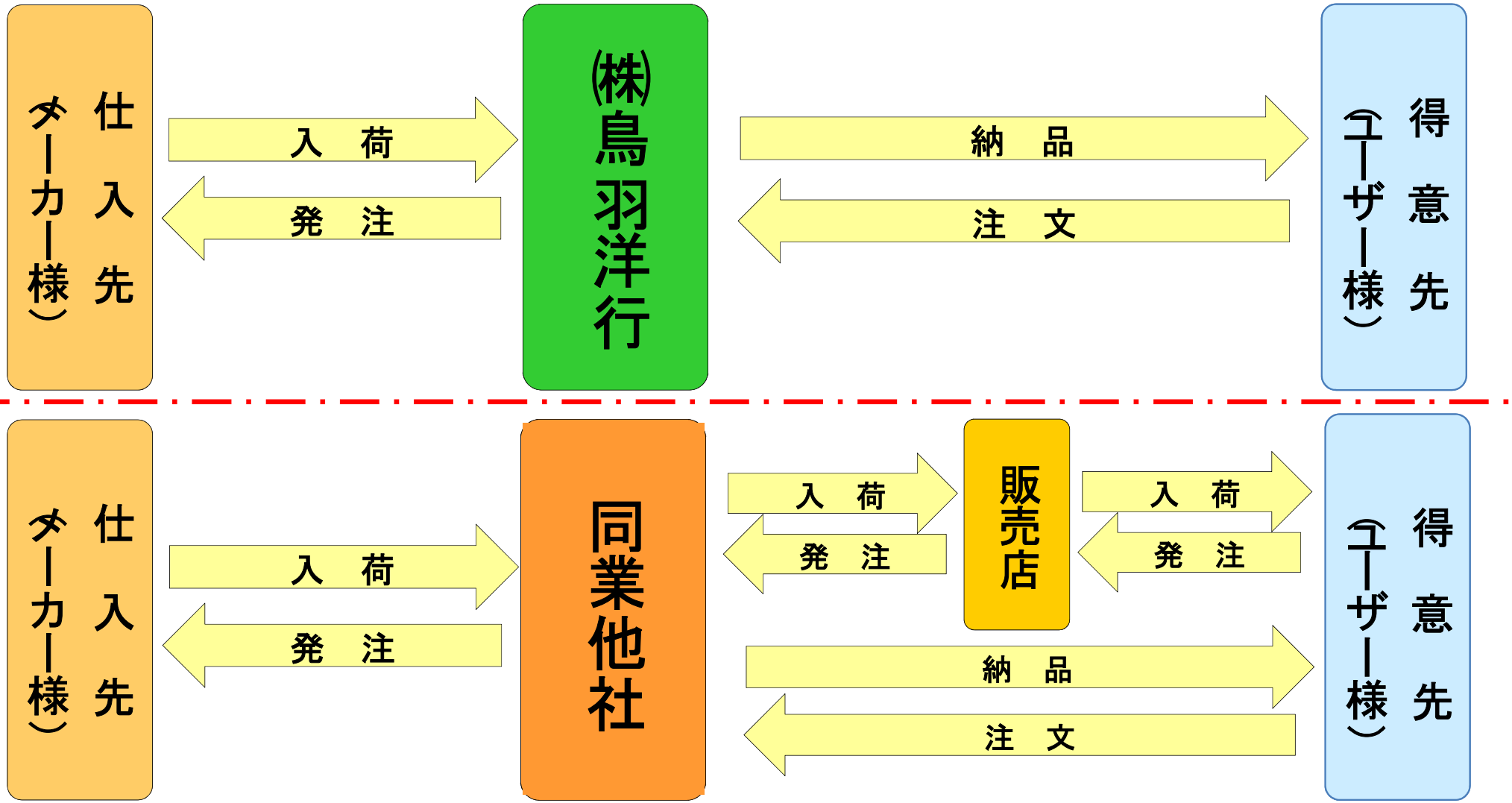
・ 国内22拠点、海外3カ国５拠点

４．強固な顧客基盤

・ 幅広い業種の代表的な企業と取引

1．販売体制（ビジネススタイル）

・ユーザー様は当社に依頼することで生産コストの低減と高品質化を実現
・『 直接仕入 』⇒ 仕入先様から直接製品を購入
・『 直接販売 』⇒ 得意先様に直接訪問し販売



1．販売体制（取扱い商品例）

制御機器

エアシリンダー

バルブ

センサー

FA機器

産業用ロボット

マウンター（実装機）

レーザー溶接機

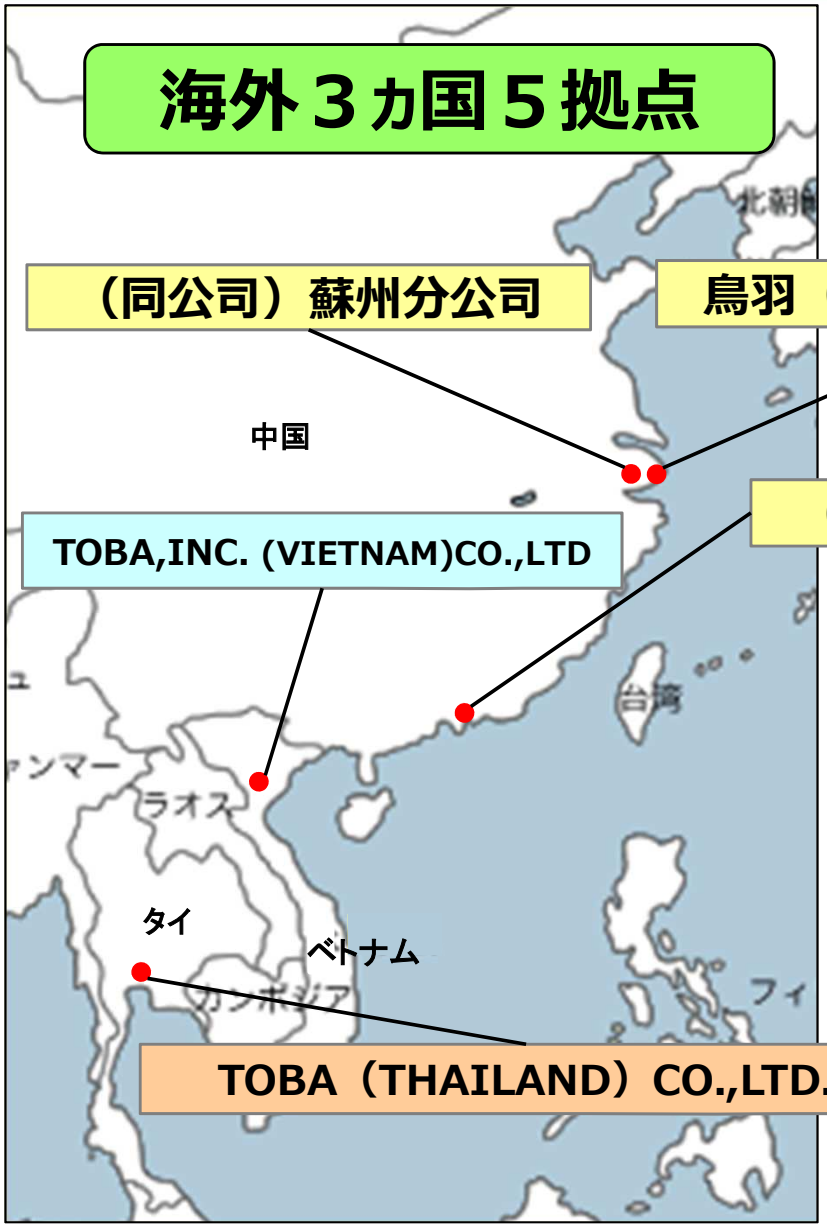
産業機器

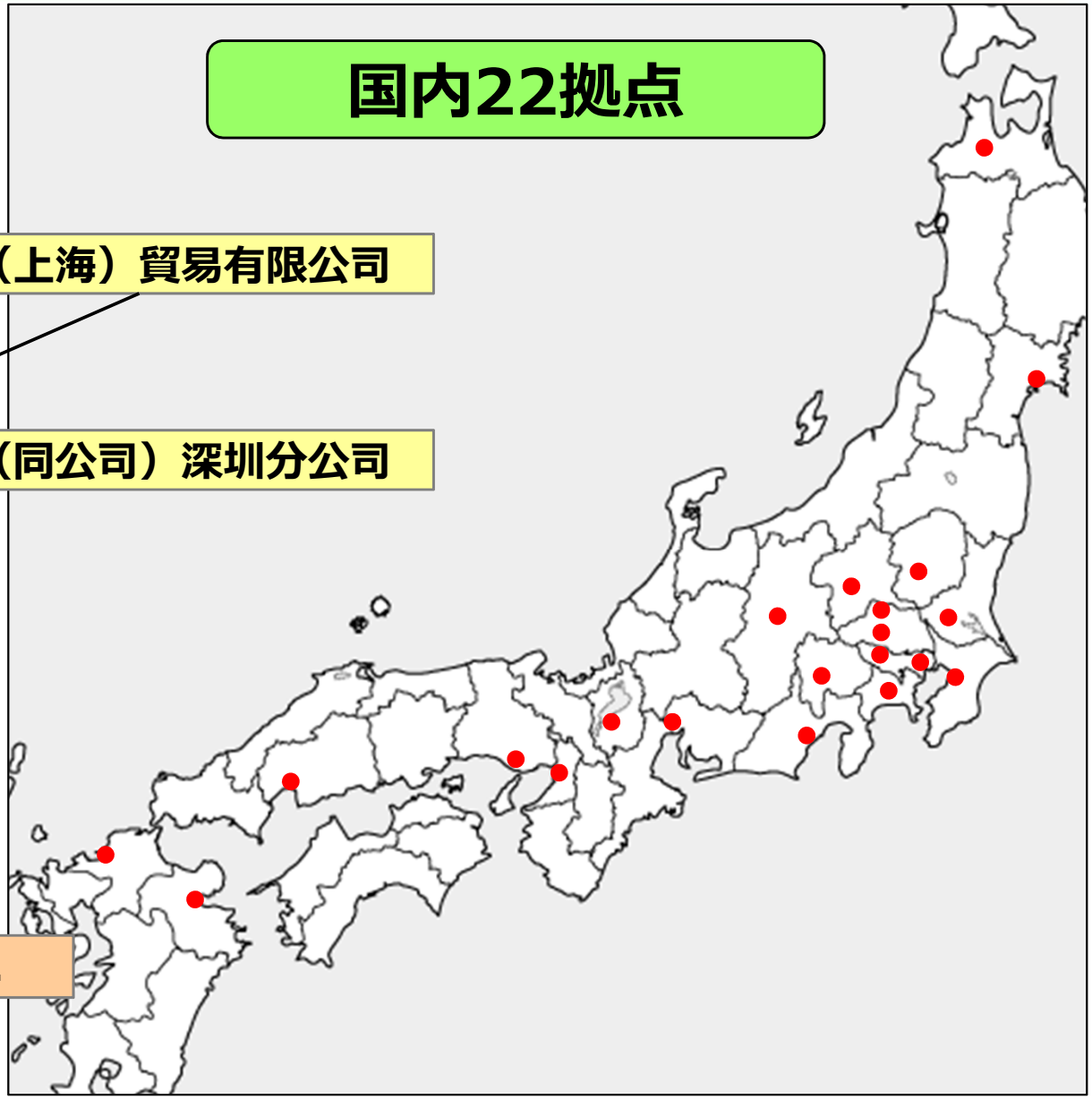
電動ドライバー

ベルトコンベア

電気チェーンブロック

3．国内外に広がる販売ネットワーク





3．国内外に広がる販売ネットワーク

➢『TOBA, INC.（VIETNAM）CO. ,LTD』設立

商　　号：	TOBA,INC.(VIETNAM)CO.,LTD
代 表 者：	上ノ原 周作
所 在 地：	Office No.Unit501-B, 5th floor V-Tower, 649Kim Ma Street, Ngoc Khanh Ward, Ba Dinh District, Hanoi
資 本 金：	500,000ＵＳＤ
出　　資：	株式会社鳥羽洋行 100%
設　　立：	2020 年６月 16 日

会社概要

- 社　　名：株式会社鳥羽洋行（TOBA,INC.）
- 本　　社：東京都文京区水道二丁目８番６号
- 創　　業： 1906年（明治39年）
- 設　　立： 1949年（昭和24年）
- 資 本 金 ：11億4,800万円
- 従業員数：【連結】245人・【単体】218人
- 販売拠点：国内22拠点･海外３カ国５拠点
- 上場市場：東京証券取引所JASDAQｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ
- 証券コード：７４７２

※従業員数は、２０２０年3月３１日現在です。

沿　革

創業者である鳥羽真作は、中国（大連市）にて、南満州鉄道を主たる取引先として創業

昭和30年～40年代
空気圧機器中心に販売展開
“空圧のＴＯＢＡ”

昭和40年代以降は、省力化・自動化機器（FA機器）を中心に販売展開
”FA プランナー TOBA”

創業より110年以上、国内外のモノづくりに貢献してまいりました。

1906年9月　創業
中国（大連市）

1949年12月　設立
中央区（銀座）

（旧銀座本社及び二代目社長：鳥羽実）

1995年11月
JASDAQに上場

1998年9月
文京区に本社移転

2008年12月
鳥羽(上海）貿易有限公司設立

2012年5月
TOBA（THAILAND）CO.,LTD.設立

2014年7月
TOBA,INC.ハノイ駐在員事務所設立

2020年6月
TOBA,INC.(VIETNAM)CO.,LTD設立

（現在の鳥羽洋行本社）

企業理念・社是

企業理念

信用第一主義

社 是

1. 当社は社会人類に貢献するためにある
2. 当社は社員の向上と幸福を計るためにある
3. 当社は最大ならずとも最良の会社たることを期する
4. 当社は明朗、勤勉、練達の社員のみをもって結成する
5. 当社は何事にも無理なく、堅実に、しかも進取、独創、能率的に経営し、信用を第一におく

当社をとりまく市場環境

◆国内の市場環境

＜現況＞
- 新型コロナウイルスの影響により景況感悪化し、設備投資は消極的に推移している

＜各カテゴリーの今後の見通し＞
- 自動車・車載部品関連
  世界的な自動車の出荷台数の減少が影響し、設備投資は低迷に推移すると予想

- 半導体及び半導体・液晶製造装置関連
  テレワークの推進によるクラウド化など、データセンターへの投資が回復してきており、
  設備投資は好調に推移するものと予想

- 次世代通信システム関連
  「５Ｇ」のサービス開始に伴い、設備投資は増加してくるものと予想

当社をとりまく市場環境

◆海外の市場環境

＜現況＞

- 米中対立の激化など不安材料が多々あり、加えて新型コロナウイルス感染症拡大の影響により世界経済全体の大きな減速が続いている

＜今後の見通し＞

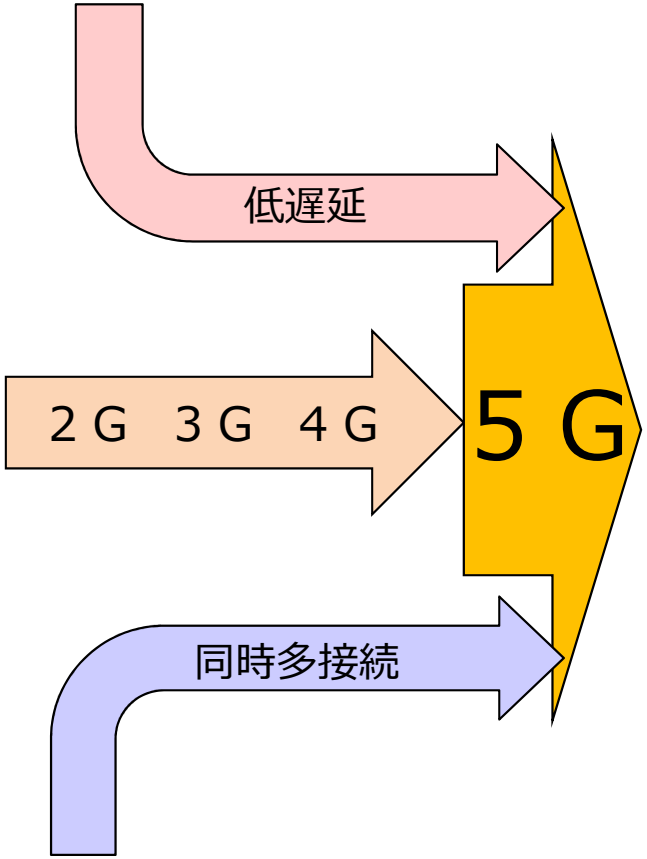
- 中国国内の内需型企業の設備投資は堅調に推移するものと予想

- スマートフォンの中国国内の需要は堅調に推移しており、**「５Ｇ」**向けを含め設備投資が始まり、今後も増加していくものと予想

- 中国の自動車産業は昨年度より出荷数が減少し、新型コロナウイルスの影響による買い控えも発生している。総じて設備投資は低迷に推移するものと予想されるが、政府による「補助金政策」により回復への期待も膨らむ

（補足資料）「５Ｇ」について

➢ 次世代通信規格5G ・・・ 2020年運用スタート



高速大容量

現在の移動通信システムより100倍速いブロードバンドサービス

⇒ **２時間の映画を３秒でダウンロード**

低遅延

タイムラグを意識することなく、
リアルタイムに遠隔地のロボット等を操作・制御

⇒ **ロボットなどの精密な操作をリアルタイム通信で実現**

同時多接続

スマホ、ＰＣをはじめ、身の回りのあらゆる機器がネットに接続

⇒ **自宅内の約100個の端末・センサーがネットに接続**

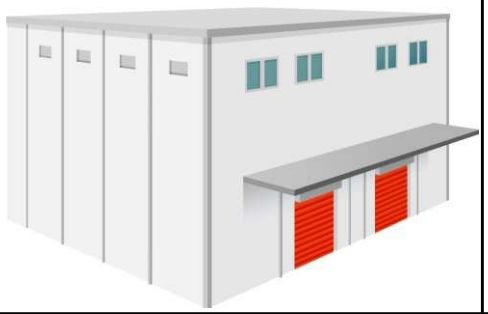
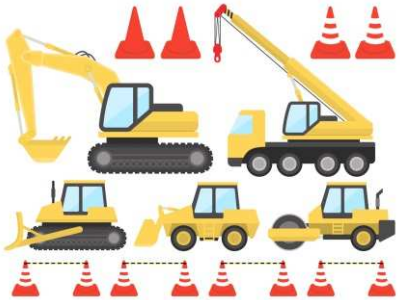
自動運転、AI、IoT等、あらゆる分野で5Gが活用される

（補足資料）「ローカル５Ｇ」について

➢ ローカル5Gとは

地域・産業のニーズに応じて、地域の企業や自治体等が個別のエリアで利用できる5Gネットワーク

➢ ローカル5G利用のイメージ

物流倉庫 	工場	建設/工事現場 	空港
駅	スタジアム	病院	港湾

今期の戦略について

＜今期の戦略＞

◆既存得意先への拡販と新規得意先の開拓

・当社**主要得意先**である半導体・液晶製造装置、電子部品関連及び自動車・車載部品等への設備投資需要の取り込み

・**三品業界**など自動化が進んでいない得意先への、ＦＡ機器の販売を積極的に展開

・「**５Ｇ**」及び「**CASE**」に関連する得意先の潜在需要の取り込み（新規開拓）

・**装置・システム案件**の更なる拡販
※単品販売から製造業の自動化まで、システムインテグレーション事業として拡販

・将来を見据えた**Ｅビジネス**の確立（取り扱い商品を拡充など）

◆新商材の発掘

・ユニバーサルロボットの正規代理店となり、協働ロボットの拡充を図る

◆海外拠点強化

・海外子会社との連携強化（情報共有し当社販売網の活用）

今期の戦略について

＜コロナ禍の制限下における当社の営業体制について＞

● **コロナ禍前の営業**

・“Face to Face ”の「対面営業」による営業活動

● **「緊急事態宣言」発出中の営業（抜粋）**

・顧客からの訪問自粛要請
・出張禁止、交代勤務体制など
・顧客は生産活動を維持

→

◆ **開発営業活動が停滞**
◆ **受注・納入活動は継続**

● **「緊急事態宣言」解除後の営業（抜粋）**

・タブレット端末の活用
・Web会議システムの利用
・「訪問営業」「出張」等の一部再開

→

◆ **“With コロナ”の営業活動**

2021年3月期第1四半期決算①

＜ 2021年3月期第1四半期 連結損益計算書の概要＞

（単位：百万円）

	2020年3月期	2021年3月期	
	1 Q	1 Q	
	実 績	実 績	前年同期比
売　上　高	6,249	5,900	△5.6
営 業 利 益	297	256	△13.5
経 常 利 益	343	295	△13.8
親会社株主に帰属する四半期純利益	232	210	△9.6

2021年3月期第1四半期決算②

＜2021年3月期第1四半期 連結貸借対照表の概要＞

（単位：百万円）

	20/3月末	構成比(%)	20/6月末	構成比(%)	備　　考
流動資産	20,896	78.8	20,302	77.3	
現金・預金	9,742	36.7	9,400	35.8	
受取手形・売掛金※1	10,999	41.5	10,687	40.7	
商品	109	0.4	184	0.7	
固定資産	5,623	21.2	5,945	22.7	
資産合計	26,520	100.0	26,247	100.0	
流動負債	8,690	32.8	8,393	32.0	
支払手形・買掛金※2	8,093	30.5	7,945	30.3	
固定負債	320	1.2	441	1.7	
負債合計	9,010	34.0	8,835	33.7	
純資産合計	17,509	66.0	17,412	66.3	
負債純資産合計	26,520	100.0	26,247	100.0	

（※1）電子記録債権を含む　（※2）電子記録債務を含む

2021年3月期の業績予想（連結）

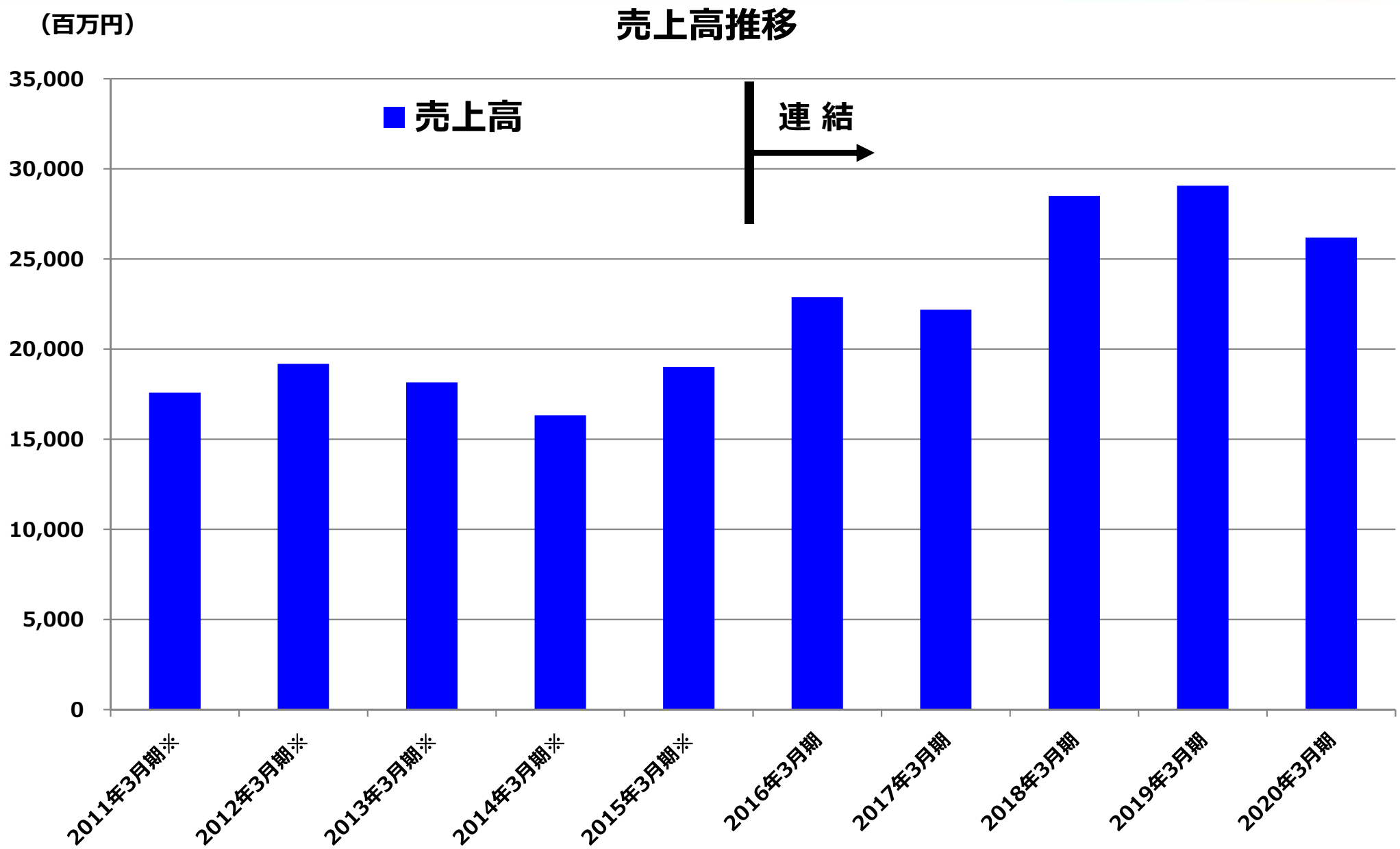
＜2021年3月期の業績予想＞

（単位：百万円）

	20/3月期（実績）	21/3月期（予想）	前期比（増減率）
売上高	26,197	25,000	△4.6%
営業利益	1,328	1,200	△9.7%
営業利益率	5.1%	4.8%	△0.3P
経常利益	1,435	1,290	△10.1%
経常利益率	5.5%	5.2%	△0.3P
親会社株主に帰属する当期純利益	972	870	△10.5%
当期純利益率	3.7%	3.5%	△0.2P

※2020年8月7日に業績予想を発表しました。

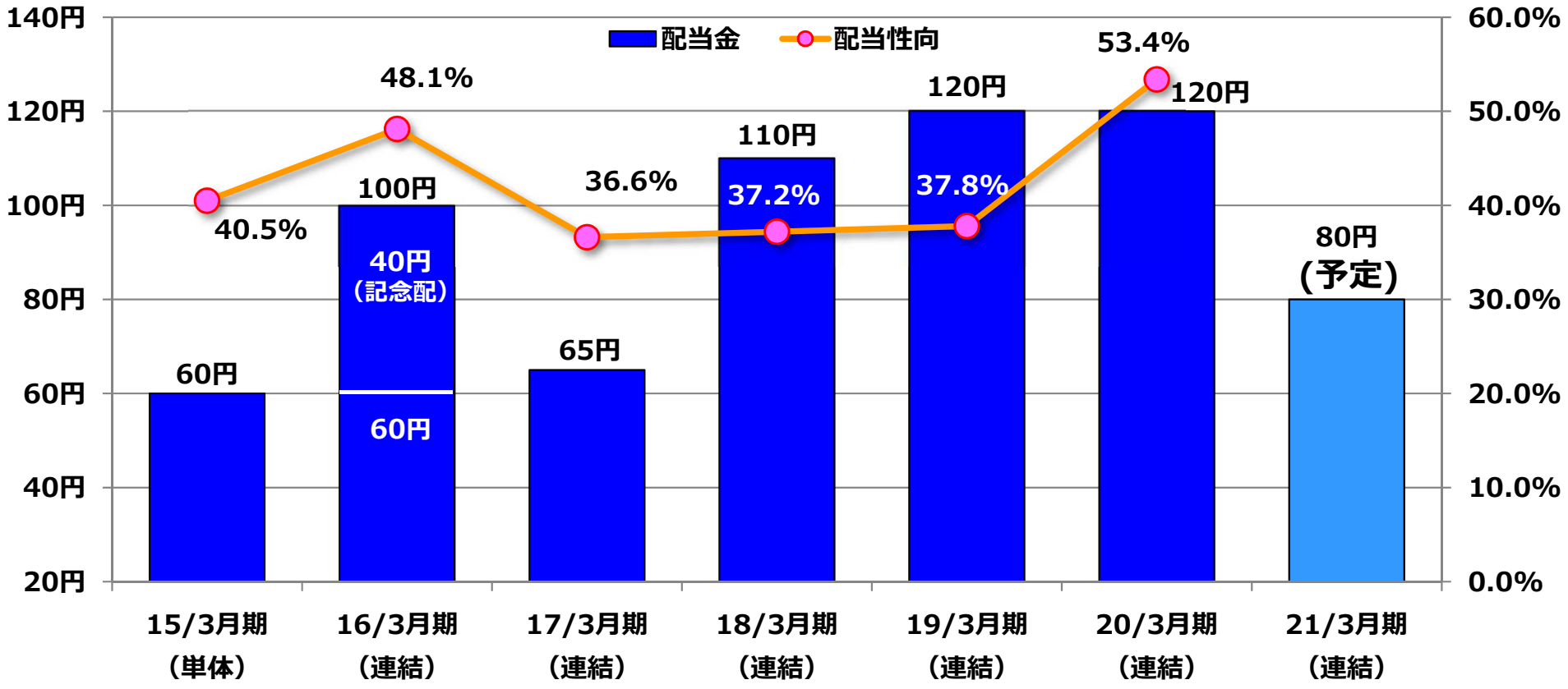
売上高推移グラフ



※2016年3月期から連結財務諸表を作成しているため、2015年3月期以前は単体の数値です。

株主様への還元

1株当たりの配当金及び配当性向の推移



※16/3月期については、創業110周年記念の記念配当金40円が含まれております。
※配当性向については、16/3月期より連結での数字で計算しております。

■ 株主還元方針

- １株当たりの配当金　**４０円**下限
- 連結配当性向　**３５%**以上

この資料には、2020年９月11日現在における弊社の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。 世界経済・競業状況等に関わるリスクや不安定要因により実際の業績が記載の数値と大幅に異なる可能性があります。なお、新型コロナウィルスによる影響は見通せないことから本資料には加味しておりません。

従いまして、その内容につきましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。また、本プレゼンテーションは、投資を勧める目的のものではございません。

[問い合わせ先]

株式会社　鳥羽洋行
管理本部総務グループＩＲ担当
住　　所：〒112-0005
東京都文京区水道２丁目８番６号
電話番号：03-3944-4031
ＦＡＸ：03-3944-4091
Ｅメール：kanri-01@toba.co.jp